

厚生文教常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和3年12月10日（金）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和3年12月10日（金）午前11時9分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
1 番 牛尾 直人君 4 番 永徳 省二君 5 番 大森 進次君
8 番 光成 良充君 12 番 原田 素代君 15 番 福木 京子君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 副 市 長 前田 正之君
教 育 長 土井原康文君 市民生活部長 杉原 洋二君
保健福祉部長兼
子育て支援課長 谷名菜穂子君 教 育 次 長 有馬 唯常君
市民課長兼
協働推進課長 稲生真由美君 環 境 課 長 大窄 暢毅君
社会福祉課長 原田 光治君 健康増進課長 石原万輝子君
介護保険課長 寒竹 邦子君 社会教育課長兼
スポーツ振興課長 西崎 雅彦君
中央学校給食センター所長 矢部 寿君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 元宗 昭二君 主 査 細川 伸也君
- 8 審査又は調査事件について
 - 1) 議第52号 財産の取得について
 - 2) 議第55号 地域活動支援センターさんようの指定管理者の指定について
 - 3) 議第56号 赤磐市山陽高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
 - 4) 議第57号 赤磐市吉井地区高齢者福祉施設（つつじ荘・あかまつ荘）の指定管理者の指定について
 - 5) 議第67号 令和3年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
 - 6) 議第68号 令和3年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
 - 7) 議第69号 令和3年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号）
 - 8) その他
 - ・事業の進捗状況について
 - ・その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（光成良充君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから厚生文教常任委員会を開会いたします。

新型コロナウイルス感染症防止対策及び委員会運営について何点かお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

まず、換気のために、委員会室の出入口と窓については開けたまま進めさせていただきたいと思っております。

次に、会議の時間短縮に心がけたいと思っておりますので、執行部の説明及び委員の質疑につきましては一問一答で明瞭簡潔にお願いをいたします。

次に、委員会条例第116条の規定のとおり、発言が議題外にわたったりその範囲を超えないように御注意ください。

なお、説明員については、議案審査に直接関係のない支所長、教育総務課長、学校教育課長には出席依頼をしておりませんので、御理解をお願いいたします。

また、先日、議会事務局からお知らせがありました。11月15日付で谷名保健福祉部長が子育て支援課長を兼務になっておりますので、お知らせをしておきます。

以上、よろしくをお願いをいたします。

それでは初めに、友實市長より御挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

本日は、大変お忙しい中、厚生文教常任委員会をお開きいただきましてありがとうございます。

本日、御審査いただく案件でございますけれども、12月の定例市議会に上程させていただいております議案の案件、さらにその他の項として事業の進捗状況等について説明をさせていただきます。何とぞ御審査、そして適切なる御決定をお願い申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。よろしくをお願いいたします。ありがとうございます。

○委員長（光成良充君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託された案件は議第52号財産の取得についてから議第69号令和3年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号）までの7件であります。

それではまず、議第52号財産の取得についてを議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いをいたします。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 有馬教育次長。

○教育次長（有馬唯常君） 議第52号財産の取得についてでございますが、本会議のほうで御説明申し上げておりますので、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（光成良充君） それでは、委員の方から質疑を求めたいと思います。

質疑ございますか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 念のためにお聞きしますが、今民間業者さんに事業していただいておりますが、民間業者さんの意向というのが業者さんの選定に活かされているのかどうか、そこを確認させてください。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 矢部センター長。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 機器の選定に当たりましては、委託先である株式会社ジーエスエフとも調整をして選んでおります。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

他にございませんか。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） 入札の入札者数と、それから次点の業者の価格を教えてください。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 矢部センター長。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 入札につきましては5名ありましたが、うち1名は辞退しております。

それから、入札の金額、次点につきましては5,990万円となっております。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいか。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） 次点が5,990万円ということになると、6,500万円のほうが高いんですけど、どういうことなんでしょうか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 矢部センター長。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 失礼しました。先ほどの落札額ということで、消費税が入っておりません。落札した業者につきましては5,975万円、これは消費税抜き

の金額でした。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 有馬次長。

○教育次長（有馬唯常君） 先ほど担当所長のほうから御説明申し上げましたが、落札額ではなく応札額、これが消費税抜きの価格で競い合いますので、御理解のほうよろしく願いいたします。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） なければ、これで質疑を終わります。

続いて、議第55号地域活動支援センターさんよりの指定管理者の指定についてを議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いいたします。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 執行部のほうからは議場で御説明したとおりで、補足説明は特にございませんで、よろしく願います。

○委員長（光成良充君） では、これから質疑を受けたいと思います。

質疑ございませんか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 障害者施設の皆さんの経営状態っていうのは、今安定されているんでしょうか。コロナもあっていろいろ厳しい状況があるんじゃないかって思うのが1つ。

それから、アグリの管理をこういう施設の方たちに委託するのが本来望ましいという声を県のほうから確認しました。現在、商工会のほうに委託をされておりますが、赤磐市として障害者施設の皆さんへ、いろいろなところに御協力をいただいているのは承知してます、トイレ掃除とかクリーンセンターの選別作業とか。言ってしまうと……。

○委員長（光成良充君） ちょっと議題から外れているような気がするので。

○委員（原田素代君） すみません。そういう施設の皆さんの、ここは指定管理なんですけども、業務としてそういうことも考えていただけないかなと思って、確認をさせてください。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 経営状況につきましては、こちらの特定非営利活動法人太陽の家は、現在障害者給付サービスの事業者ということで県の認可を受けておりまして、給付費は払われておりまして、それによって安定した経営ができておるといことで指定管理料も不

要となっております。事業報告等を受けておりますけども、その中でも特段経営のほうは困っておるといような事情は聞いておりません。

それからもう一点、アグリの委託の件ですけども、こちら現状では詳細を把握しておりませんので、また確認等を行いたいと思います。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

他にございませんか。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） 指定期間が5年間になってるんで、5年間の理由だけ教えてください。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） こちらの今回の指定期間が3期目となっております、これまで安定して経営をしていただいております。その実績に基づきまして、今回も指定期間を5年ということをお願いしております。

以上です。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） ここは現在何名になってますか。それで、以前から同じ仕事というんか、仕事の内容というんか、何点かされているんですけど、それは変わらないんですか。そのあたりの現状をお願いします。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） こちら2種類のサービス提供を行っております、就労継続支援B型のほうが10人、それから生活介護のほうが9人ということで、現状変わらずその形態で事業所の運営を行っていただいております。

以上です。

○委員長（光成良充君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 作業なんかされている内容を以前見せていただいとんですが、それと同じような仕事なんか、大変だと思うんですけど、どういう現状でしょうか。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 内容的には以前と変わっておりませんで、自動車の部品のパーツの組立て作業ですとか、ああいったことを中心に作業所のほうをやっておられます。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） なければ、これで質疑を終わります。

続きまして、議第56号赤磐市山陽高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定についてを議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いいたします。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 議第56号につきましても、議場で御説明したとおりで、特に補足説明はございません。

○委員長（光成良充君） それでは、これから質疑を受けたいと思います。

質疑ございませんか。

原田委員。

○委員（原田素代君） これ場所が分かりません。どこのことなのか教えてください。

それで、やっている業務、事業を教えてください。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） こちらの場所ですけれども、市の山陽総合福祉センターを設置している位置に隣接しております。福祉センターと、あと老人福祉センターの間の中間地点に建っております。

それから、こちらの内容ですけれども、木工等をやっておりますで、そちらのほうで生きがいづくりということで活動していただいております。

会員のほうが17名ということでお聞きしております。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 25万円の指定管理料が伴っているわけですが、具体的にこれは何に使われる予定なんですか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） この5万円の内容ですけれども、小修繕ですとか、あと保険の関係、消耗品費等ということで、年額5万円ということをお願いしております。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

原田委員。

○委員（原田素代君） これは、利用する方の資格というか、どなたでも行けば利用できる状態になっているのか、会員制になっているのか教えてください。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 名目は会員となっておりますので会員になっていただく必要があるかと思えますけれども、特定の方に限定したという目的の施設でもありませんので、お申し出していただければどなたでも利用できるという施設です。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 要するにオープンな施設なのか、クローズな施設なのかというのを1つ確認したいんですけど、例えば女性の方の利用も結構あるんですか。木工というふうにお話を聞きましたけど、男女比っていうのはどのぐらい利用者の内訳があるのか教えてください。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） すみません。手元で男女比まで把握できておりません。すみません。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 要するに施設としては、利用者はオープンなのか、会員だけにクローズにしているのかっていうのをもう一度確認させてください。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） いつでも誰でも来ていただけるようなオープン、そういう意味でのオープンではありませんで、木楽会という会員制を取っておりますので、その会員にな

っていただいての御利用になるかと思えます。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） それは山陽地区に限定ですか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 特に山陽地区を限定したような施設の指定管理をしておりませんので、市内全域の方が御利用できるということになります。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） ないようですので、これで質疑を終わります。

続きまして、議第57号赤磐市吉井地区高齢者福祉施設（つつじ荘・あかまつ荘）の指定管理者の指定についてを議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いいたします。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） この案件につきましても、議場で御説明したとおりで、特に補足説明はございません。

○委員長（光成良充君） 続いては、委員のほうから質疑を受けたいと思います。

質疑ございませんか。

原田委員。

○委員（原田素代君） こういった案件については、あえて細かく今回説明を求めているんですが、本来執行部のほうから、この事業所は今こういう状況ですと、利用者の状況はこうで課題はこうだということを取りあえずそちらから現状説明をしていただいて、議案として御検討くださいというふうに出されるのが本来だろうと私は思っているんです。だから、今ここで重箱の隅をつつくようなというか、説明を聞いているわけですけど、ぜひそういう考え方をしとっていただきたいというのがまず前提にあって、その上でこの利用者は割と固定化されていると聞いておりますが、現状では長いこと御利用の方がかなりいらっしゃるんでしょうけど、その辺のバランス、利用者の様子を教えていただけますか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 利用者のバランスという意味合いが……。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） すみません、質問が悪くて。

利用者で長いこと御利用になっている方と新しく御利用になっている方は、どのぐらいの状況でいらっしゃる。要するに長いこといらっしゃるのか、それとも割と回転が速いのか、そこを知りたいんです。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 現状、入所している方の割合までは詳細ちょっと分かりかねますが、入所者の方の身体状況の変遷といいますか、状況によりまして、そこで住み続けることができなくなりましたら次の段階の別の系列の施設へとか、そういったことで関連施設と一体的な運営をしておりますので、一概に長いか短いかということは申し上げられないです。

割と年に何人かは入れ替わりといいますか、退所されて、また新規の入所の方が入られてますので、そういった状況であるということでお伝えさせていただきたいと思います。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 待機者はいらっしゃるんですか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 現状では、待機者がいるというふうには聞いておりません。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

他に質疑ございませんか。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） すいません。あまり施設について詳しくないものでお聞きするんですが、たしか私の記憶では5年間で6,000万円ほど委託料を払っているということなんですが、利用者の方からは料金徴収みたいなことはしてるんでしょうか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） こちら、御本人の収入状況に応じまして費用負担が決まっております。

一般的には、措置での入所制度があるんですけども、そういった方も収入の状況によりまし

て個人負担額が違いますので、本人の状況に応じて費用負担を行っておるというのが現状です。

○委員長（光成良充君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） その費用負担は大体どれぐらいからどれぐらいの範囲ぐらいなんでしょう。教えてください。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 御本人の収入による階層区分というのが決まっております、年額120万円以下でしたらゼロ円、それからずっと段階がありまして、一番大きいところは240万1円以上でしたら月額5万円の使用料というふうになっております。

○委員（永徳省二君） ありがとうございます。

○委員長（光成良充君） よろしいですね。

他に質疑ございませんか。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 改めて確認なんです、つつじ荘とあかまつ荘と両方、一体の管理、これは前回からでしたかね。

つつじ荘は障害者の関係で、あかまつ荘はデイサービスやそういう高齢者の関係ですよ、確認ですが。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） つつじ荘のほうが10室の高齢者向けの生活福祉センターになっておりまして、あかまつ荘が先ほどおっしゃいましたようにデイサービスセンターになっております。こちらは一体的に管理運営をお願いしておるものになります。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） つつじ荘は10室で、あれは一体である場所でしたかね、確認ですが。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 佐伯北の診療所の敷地内に併設されておりまして、そこで一

体的に管理運営をお願いしているものになります。

以上です。

○委員長（光成良充君） 他に質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） なければ、これで質疑を終わります。

続いて、議第67号令和3年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いいたします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 杉原部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） 本件につきまして、事業勘定、熊山診療施設勘定ともに本会議場での細部説明のとおり、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（光成良充君） それでは、これから質疑を受けたいと思います。

質疑ございませんか。

○副委員長（福木京子君） 確認。委員長。

○委員長（光成良充君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） これも確認になりますが、これは臨時交付金繰入金が120万円入ってるんですが、そして国庫支出金等返還金が1,081万7,000円ですよね。こういう返還金があるんですけど、臨時交付金繰入金が120万円ということはどういうふうに考えたらよろしいでしょうか。その説明をお願いします。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 稲生課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 臨時交付金につきましては、コロナウイルスの影響によりまして健康保険税を200万円減免したうちの120万円、6割に当たる部分をこの臨時交付金を使っていいということで120万円計上しております。

もう一つ言われました償還金が発生したものは、令和2年度の保険給付費とか特別交付金の精算によりまして発生したもので、これは予備費を充当したものになります。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

他にございませんか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 今回、事業勘定のところで熊山診療所だけなので、吉井のほうの診療

所は今回予算が動いていないというふうに理解したらいいですか。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 予算は動いておりません。

以上です。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） それでは、ないようですので、これで質疑を終わります。

続きまして、議第68号令和3年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）を議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いいたします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 杉原部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） 本件につきましても、本会議場での細部説明のとおりで、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（光成良充君） それでは、これから質疑を受けたいと思います。

質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） それでは、質疑がないようですので、これで質疑を終わります。

続いて、議第69号令和3年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号）を議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いいたします。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 議第69号につきましても、議場で細部説明で御説明したとおりで、補足説明は特にございませぬ。

○委員長（光成良充君） それでは、これから質疑を受けたいと思います。

質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） それでは、質疑はないようですので、これで質疑を終わります。

それでは、ただいまから本委員会に付託されました議第52号財産の取得についてから議第69号令和3年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号）までの7件について採決したいと思います。

まず、議第52号財産の取得について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（光成良充君） 起立全員です。したがって、議第52号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議第55号地域活動支援センターさんよりの指定管理者の指定について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（光成良充君） 起立全員です。したがって、議第55号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議第56号赤磐市山陽高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（光成良充君） 起立全員です。したがって、議第56号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議第57号赤磐市吉井地区高齢者福祉施設（つつじ荘・あかまつ荘）の指定管理者の指定について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（光成良充君） 起立全員です。したがって、議第57号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議第67号令和3年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（光成良充君） 起立全員です。したがって、議第67号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議第68号令和3年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（光成良充君） 起立全員です。したがって、議第68号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議第69号令和3年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号）について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（光成良充君） 起立全員です。したがって、議第69号は原案のとおり可決すべ

きものと決しました。

以上で当委員会に付託された議案の審査は全て終了いたしました。

次に、閉会中の継続調査及び審査についての確認をお願いしたいと思います。

お手元に配付しております継続調査及び審査一覧表は、レジュメの裏を見てください。この一覧表のとおり、議長に対し閉会中の継続調査及び審査の申出をいたしたいと思いますが、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） それでは、このように申出をいたします。

次に、閉会中の委員派遣についてお諮りをいたします。

閉会中の審査及び調査案件の調査のため、委員派遣を行う必要が生じた場合、議長に対し委員派遣承認要求を行うこととし、派遣委員、日時、場所、目的及び経費等の手続につきましては、委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） それでは、そのようにさせていただきます。

なお、委員長報告につきましては、委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） それでは、そのようにさせていただきます。

次に、2番目のその他に入らせていただきます。

まず、事業の進捗状況について執行部から説明をお願いいたします。

では、市民生活部から。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 杉原部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） 事業の進捗状況について、市民生活部では協働推進課、環境課、それぞれ担当課長より行います。なお、市民課については案件はございません。

以上です。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 稲生課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） それでは、事業の進捗状況につきまして、協働推進課から4件報告させていただきます。

市民生活部資料1ページを御覧ください。

(1)第4次赤磐市男女共同参画基本計画（案）パブリックコメントの募集についてでございます。

議員様にパブリックコメント募集の案内をさせていただいておりますとおり、12月16日木曜

日まで御意見を募集しておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、(2)人権を考えるつどいの開催についてでございます。

本日12月10日は世界人権デーとなっております。12月4日から10日を日本では人権週間としまして各地で事業が展開されているところがございますが、その一環といたしまして、赤磐市では、前回の委員会でも御案内しましたとおり、この日曜日、12月12日日曜日の13時から人権標語の表彰式と13時30分からのピーター・フランクルさんをお迎えしての人権講演会を予定しております。入場整理券も残り僅かですが残っておりますので、お知らせいたします。

続きまして、(3)令和3年度人権啓発作品展の開催についてをお知らせします。

次のページを御覧ください。

1月21日金曜日から23日日曜日にかけて、中央図書館多目的ホールで人権作品の展示を行います。今回は、23日の午前中に、今年度の市民活動実践モデル事業としましてあかいわモモちゃんの人形劇団が人権をテーマにした人形劇を新しく作りまして、10時30分から先着30名を対象に講演を行う予定にしております。また、児童・生徒さんの作品もたくさん展示いたしますので、御覧いただければと思います。

1ページに戻っていただきまして、最後に(4)男女共同参画セミナーの開催報告をさせていただきます。

男女共同参画ネットワーク副会長の原田議員の挨拶から始まりまして、岡山大学の松井めぐみ准教授からセクシュアルマイノリティーの基本的な事柄や当事者から告白されたらどうするかについてグループでの話し合いも行い、日頃の自分の考えとの違いを振り返る場となりました。対応には正解はありません。しっかりと相手の話を聞くことや社会のいろいろな多様性を認め、お互いに尊重し合うことが大切ですよというようなことを学ぶ研修となりました。

協働推進課からは以上でございます。

○環境課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 大窄課長。

○環境課長（大窄暢毅君） それでは、続きまして環境課から御説明をさせていただきます。

3ページをお願いいたします。

この12月に入りまして、市民の方からの通報により、セアカゴケグモが桜が丘地内で確認され、周辺を含めての調査及び駆除を実施いたしました。

セアカゴケグモに関しましては、日本国内では平成7年に、岡山県内では平成20年に初確認され、その後物流などを通じて広がりを見せ、現在ではどこで生息していても不思議ではないといった状況になっております。

攻撃性はもともとないものと思っておりますが、特にメスは毒を持っており、かまれる危険性もあることから、このたび防災行政無線による放送をし、ホームページによる注意喚起などを行ったものでございます。

なお、このたび確認できたものは全て完全に駆除をしておりますが、今後も見つけられたときは必ず殺虫剤など安全な方法で駆除を行っていただき、環境課までの御連絡をお願いしているところでございます。

3 ページの後に環境省がホームページ等で提供しておりますチラシを資料として添付しておりますので、委員の皆様におかれましても十分御注意いただくとともに、情報等ございましたら環境課のほうへお寄せいただきますようお願いいたします。

環境課からは以上でございます。

○委員長（光成良充君） ありがとうございます。

それでは、この件について委員の皆様から質疑ございますか。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） セアカゴケグモの件ですけど、駆除された、発見された場所を教えてください。

○環境課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 大窄課長。

○環境課長（大窄暢毅君） この件については、ほかでも若干お問合せをいただいております。

先ほどの説明のとおり、セアカゴケグモは今となってはどこで見つかってもおかしくないというような状況でございます。あまり地域を限定的にお知らせすると注意喚起の範囲が不要に狭まったり、また昨今の状況では情報が様々な伝わり方をする可能性というところも考えまして、逆に赤磐市内という大きい範囲では注意喚起の効果も発揮できないというところを総合的に勘案しまして、桜が丘地域という表現でお知らせを統一させていただいております。丁目等の公表は差し控えさせていただいておりますので、御理解いただきたいと思います。

以上です。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） それでは、ないようですので、続きまして保健福祉部をお願いいたします。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） それでは、事業の進捗状況について、保健福祉部からは子育て支援課、健康増進課、介護保険課のほうで説明させていただこうと思っております。よろしく申し上げます。

○委員長（光成良充君） はい。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名課長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） それでは、保健福祉部の資料の1ページ、開いてすぐのところを御覧いただきたいと思います。

子育て支援課のほうでは、(1)の里親パネル展と制度説明会について御案内したいと思います。

パネル展のほうを現在中央図書館の玄関ホールのほうで12月3日から12月15日の水曜日まで開催しておりますので、ぜひ委員の皆様もお帰りの際とか見学していただけたら幸いです。よろしく申し上げます。

また、②番の制度説明会がございます。12月15日の水曜日の午後2時から3時に中央図書館の多目的ホールで制度説明会、里親についての説明会をしたいと思っております。本日が締め切りとなっておりますので、もし御興味のある方は子育て支援課のほうに申し込んでいただけたらと思います。よろしく申し上げます。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） それでは、健康増進課のほうから事業の進捗状況について御説明いたします。

(1)新型コロナウイルスワクチン接種についてです。

まず、12月1日時点の接種者数及び接種率の状況です。

2回接種を完了された人は3万3,009人です。市民の75.14%、12歳以上の対象者では83.66%の接種率です。また、1回目と2回目の接種者数の差も次第に少なくなっている状況です。

次に、追加接種について御説明いたします。

実施期間は、臨時接種の期間を令和4年2月28日までと定めていました現行の期間を延長し、令和4年9月30日までになりました。そして、追加接種の開始は12月1日からで、現在医療従事者の接種が始まっております。

対象者は2回目接種を終了した18歳以上で原則8か月以上経過した者と資料には記載しておりますが、その後に新型コロナウイルスの変異株、オミクロン株の報告があったことで状況が変わってきております。感染再拡大を警戒し、国は8か月を待たず前倒しをする検討をしております。市といたしましては、国の方針が決まり、前倒しとなりましても、可能な限り対応できるように再調整を現在行っております。

接種体制は、1回目、2回目と同様、集団接種と個別接種を併用して行います。

集団接種の会場は、桜が丘いきいき交流センター、赤磐医師会病院、吉井会館です。

接種券は、2回目接種から8か月経過する月の前月25日頃までとし、高齢者は1月に発送し2月以降に接種の予定ですが、先ほどの説明のとおり変更になる可能性があります。御理解の

ほどよろしくお願いいたします。

使用するワクチンですが、1回目、2回目に使用したワクチンの種類にかかわらず、ファイザー社ワクチン、モデルナ社ワクチンを使用し、交差接種も認められております。しかし、当面は、追加接種が薬事承認されているファイザー社製を使用いたします。モデルナ社製は承認を得た後に可能となります。

接種会場への交通手段ですが、高齢者が多いと思われる2月から4月を想定し、接種日には送迎バスを準備いたします。前回と同様に、山陽地域、熊山地域、吉井から赤坂地域の3ルートを運行いたしますので、御利用していただきたいと思っております。

また、医師会病院会場には駐車スペースに限りがありますので、市役所と医師会病院間を走行するシャトルバスの準備を進めております。

以上、説明を終わります。

○介護保険課長（寒竹邦子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 寒竹課長。

○介護保険課長（寒竹邦子君） 介護保険課からは、先日行われました支え合いの地域づくりフォーラムについて御報告いたします。

資料の2ページを御覧ください。

社会福祉協議会に委託しております生活支援体制整備事業の一環として、社会福祉協議会が中心となり準備をしておりました支え合いの地域づくりフォーラムを先月開催いたしました。これまでコロナで各種イベントが制限され、解除後初めて市民の皆さんを集めて開催することができましたので、御報告いたします。

日時は令和3年11月23日火曜日、午後1時30分から3時30分で、場所は赤磐市中央公民館で開催いたしました。

参加人数ですが、募集人数100人に対して130人の申込みがあり、急遽一部役員の方には視聴覚室で視聴していただきました。

内容は、第1部で基調講演として、公益財団法人さわやか福祉財団で新地域支援事業担当リーダーとして活躍されている高橋望先生に、地域が輝く支え合いと題して、これからの高齢化社会においてなぜ支え合い、助け合いが必要なのか、社会参加することで自分自身が健康で生き生き生活することができるということについて、赤磐市の実情も踏まえながら分かりやすくお話ししていただきました。第2部で西軽部、穂崎、仁堀地区の3地区の皆さんが行っている支え合い活動についての報告、第3部で高橋先生にも参加していただき、意見交換を行いました。参加者の皆さんにも、自分たちの地域でどんな支え合い、助け合いができるかということについて、考えていただくきっかけになったのではないかと思います。

以上で介護保険課からの報告を終わります。

○委員長（光成良充君） 執行部からの事業の進捗状況について説明がございました。

委員の皆さん質問ございますか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 1ページに戻りまして、里親の件ですが、申込みの状況、今日が締切りということですけど、どのぐらい申込みの件数があるか教えてください。

○委員長（光成良充君） 答弁求めます。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） はい。

○委員長（光成良充君） 谷名課長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） すいません。今の申込み状況は確認ができておりませんので、また確認を取り次第、御報告させていただきたいと思います。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 次のコロナワクチンなのですが、前回もかなり質問させていただきましたけども、老人施設、福祉施設に入居の方たちへの対応はここには書いておりませんが、前回は例えば施設の職員の方たちへの負担状況、経済的な保障、そんなことについて非常に不十分じゃないかっていう状況を、施設の皆さんへの、職員への経済的な保障ですとか環境整備を様々な分野で市が本来手厚く対応するべきじゃないかという意見を申し上げましたけども、このたびはそういう経緯を踏まえてどういう対応を考えていらっしゃるのかお尋ねします。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） このたびも、今のところ接種後8か月ですが、その原則ということで特に優先接種もありませんので、その時期に接種をしていただこうと思っております。各施設の方には医療機関等の調整をしていただくようお願いをしておりますが、難しいところがありましたら市役所のほうに御連絡をとということで御案内をさせていただいている状況です。

以上です。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） そうすると、前回と同様で、経済的な支援もなければ様々な体制整備も求められなければ市は考えてないと、そういうふうに理解したらいいんですか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（石原万輝子君） はい。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 先ほどと同じになりますが、何か支援を求められましたら一緒に考えていくという方向で臨みたいと思います。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

他にございませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 2ページのところで、参加させていただきました。画期的な企画だと思いましたが、参加者も大変にぎわってらっしゃったんですけど、感想です。

女性が少ない、リーダーの中に。地域の活動っていうのは女性がいてこそ盛り上がるんですよ。いろいろな活動の中で、女性がリーダーの中にいろいろ発揮していただかないと。今回、非常に貴重な活動報告が3地区でありましたけど、当然地区の中では女性も関わってらっしゃるんですけど、報告者の中に女性がいらっしゃらない。全部男性だけだったっていうのは、これからの課題じゃないかなというふうに感じました。今後、ぜひ企画が発展することを期待しております。感想でした。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 1ページのワクチン接種のことなんですが、今回は高齢者施設、特に優先はないということなんですけど、高齢者の方は一番にされましたよね。8か月も早いと思うんですよ。だから、あれがぐっと低くなって、早くしたいという方が多いと思うんですけど、その場合、高齢者は優先というんか、高齢者施設、そういうふうなことは考えないんですか。

それからあと、学校の先生は子供たちの接点も多いし、以前したようなある程度の優先というんか、これは市民等の感情はいろいろありますけど、そのあたりは検討が要るんじゃないかと思うんですが、ほかの自治体なんかとの関係、情報とか、そんなんはどんなんでしょうか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） このたびの3回目の接種が、2回を終了してから今現在8か月ですが、前倒しになるかもしれませんが、そういうことが原則としてありますので、1回、2回目を優先接種した人は当然早く期間が来ますので、順次接種券を送らせてもらって接種をしていただくことになります。

以上です。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） そしたら、施設に入られてる高齢者とか、職員さんとか、それから学校の先生、少しでも早いほうになるということですね。分かりました。

以前のように段階的に接種券を送るから、その辺の混雑というんか、その辺はどう考えてますか。何とかいきそうと考えてますか。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 5月には大変混乱いたしまして市民の方には御迷惑をおかけしました。それはぜひ回避しないといけないと思っております、接種券の発送を1週間ずつに送るとか、コールセンターでも混まないように配慮したりとか、コールセンターの回線数を10から15回線に多い人数のときには増やすとか、そのあたりを工夫していきたいと思っております。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） では、ないようですので、それでは次に、その他のその他に入りたいと思います。

その他のその他について執行部のほうから説明ございましたらお願いいたします。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名課長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） レジューメのほうには今回急なところで記載できなかったんですが、子育ての臨時給付金については、初日にできるだけ早い時期の給付をということで議会で議決をいただきまして、ありがとうございました。

残りの5万円は春頃クーポン券を交付することとされておりました。その給付事務についても、同じ対象者で予算作成事務を現在進めているところです。議会にも予算の調製をお願いを先日行ったところです。国のほうも現金給付につきましては二転三転しておりますが、赤磐市でも事務の効率化と市民に少しでも早く届けられるということで、ペナルティーなど特に国のほうがまたどういう条件をつけてくるか分からないんですが、そういうことが発生しないなら現金給付の方向で進めていきたいと考えております。どうぞ御理解のほうよろしく申し上げます。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） もう国は確定してるんじゃないんですか。まだ流動的なんですか。各都道府県知事、自治体が判断すればそれでいいと確定してると思うんですけど、赤磐市はあく

までもクーポンをやめて、10万円を一括するというふうに進めようと思ってらっしゃるということですね。確認を。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名課長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 先日、国のほうが最初に5万円を給付して、それで春頃にまた5万円のクーポン券等を交付するようという指導が一番最初にございました。それを受けまして、いろいろ調整を事務局のほうでもしておりますが、いろいろ考えまして、春頃までにクーポン券とかそういったところはなかなか難しい、事務の効率化とか、それから市民の御要望で少しでも早くというようなお電話のほう等も時々聞かれるようになりました。そういった中で、できるなら赤磐市でも、残りの5万円につきましても現金給付の方向で進めていきたいというふうに現在考えているところでございます。ただし、国のほうは二転三転、報道とは別に、正式にはまだ具体的なところがはっきり事務局のほうに届いておりませんので、最終的にどういった事務通達のほうが来るかちょっと分からないところが正直現状でございます。ただ、できるなら残りの5万円につきましても現金給付という形で進めていきたいというふうに考えておりますので、御理解よろしくお願ひしたいと思います。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 要するに、今国民世論は、一括で10万円を早くスピーディーに配るべきだという声なわけですよ。クーポン券をやると莫大な費用がかかるし、手間もかかるし、職員の皆さんの。何で追加して、今回ここでもう5万円の分で10万円を一括で払うっていうふうになさらないんですか。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名課長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 今の段階で、Q&A等が市町村のほうに国のほうから送られてきます。そういった中で、今最終的なところは、国のほうから、10万円を一括給付するようだったら5万円しか市町村に払いませんというようなことを書かれたQ&Aも入ってまいったようなところがございます。そういったところからまた次の段階に正式な文書が進んでおりませんので、そのあたりを事務局のほうでしっかりと調査をしながら進めていきたいというところですが、先ほどから申しておりますとおり、現金給付の方向では進めたいというふうに思っております。

また、国のほうも現時点では一括というのは、大阪市長のほうも、今朝報道でちょっと聞いたんですが、一括はちょっと無理かなというようなところで、分けて進めないといけないとかいろいろ条件のほうはまだまだ来るとお思いますので、そちらはまだ届いておりませんので、そのあたりもしっかり見ながら事務のほうを進めていきたいと思っておりますので、よろしくお

願います。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 先ほど子育ての関係の説明がありましたが、現在臨時国会で審議中の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金について、事業の詳細等未確定な部分も多いですが準備を進めてまいりますので、よろしく願いいたします。あと、併せて議会に予算調製をお願いしているところでございます。

以上です。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） それでは、社会教育課から令和3年赤磐市成人式代替イベントについて御報告をさせていただきます。

資料はございません。

先月の委員会で御説明させていただきました代替イベント、若者の集いでございますが、予定どおり12月4日土曜日、おかやまフォレストパークドイツの森において実施をいたしました。

当日は46名の方に御参加をいただき、教育長からの挨拶、集合写真撮影の後は友達や恩師の先生方と談笑や写真撮影、公園内の散策など、楽しいひとときを過ごしていただきました。当日の様子につきましては、広報あかいわ1月号で紹介をさせていただきます。

以上、簡単でございますが報告を終わります。

○委員長（光成良充君） 委員の皆様から何かございますか。

福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 今、原田課長のほうから説明があったんですが、非課税の臨時特別給付金、これは準備を進めてるんですか。見通しとしてはどういう状況になるんですか。いつ頃になるんですか。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） その辺のスケジュール的なところは何もまだ詳細が来ておりません。まだ審議中でもありますので、臨時国会成立後に速やかに準備に入れるような最低限の準備はしていくという段階です。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 今、成人式の分は令和3年度ですけど、令和4年度は確認ですが

どういう状況を考えられておられましたかね。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 令和4年の赤磐市成人式につきましても、先月の委員会で報告をさせていただきましたが、現在のところ令和4年1月9日、山陽ふれあい公園においての準備を進めているところでございます。

以上です。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） たしか18歳を入れるんですよね。入れなかったんでしょうか、今回の成人式、令和4年、どっちでしたかね。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 対象者は20歳の年齢でございます。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） これは人事に関わることは言えないのかもわかりませんが、子育ての関係ですから、今回部長さんが課長兼務ということでお聞きしたんですけど、内容的には相当大変だと思うんですよ。その辺はどういう見通しになるんでしょうか。当面は兼務なんですけど、来年4月ぐらいにはまた新たな方とか、これは人事だからいいんですかね、これは市長が参加されてるからちょっと無理ですか。その辺がもし、子育ての厚生の関係なんで、難しかったらちょっと。

○委員（原田素代君） 答えなくなったら答えないでいいです。

○副委員長（福木京子君） どういうふうに聞こうか。まあいいです。

○委員長（光成良充君） いいですか。

○副委員長（福木京子君） はい。

○委員長（光成良充君） ほかいいいですか。

福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 下山議員が本会議で言っておりました保育園の関係で、山陽のほうが入り切れなくて、あと何人かが吉井のほうへ行かれているという状況があるように聞いてんですが、現状がどうなのか。

それで、実はいろいろお聞きしますと、桜が丘の東になるんですけど、シングルマザーの方が保育園に申込みしたら、入れませんと。保育士さんが足りないというふうな理由を言われたらしいんですが、そういうシングルの人こそ保育園には入らないといけないと思うんですけ

ど、そういう状況がないようなんですけど、その辺はどういうふうに現状考えておられるのかお聞きしたいと思うんですが。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名課長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） いろいろな問合せが途中入園の場合はございます。転居されたから変わりたいとか、そういった問合せもございます。

初めは場所が違うところから、おうちが北のほうから南に移ったから南の保育園に行きたいとか、いろんな問合せがございます。ただ、今年度は、議場でもその質問についてはお答えさせていただいたんですが、今待機児童がいるかいないかって言ったら、ございません。途中、少し待機児童が1名2名出た時期もあるんですが、現状では待機児童はゼロということになっております。

少し動いたりもするんですが、今は保育園のほうで申込みを受け付けてくださってるような状況ですが、市のほうも来年度からしっかりしないといけないというふうに考えておりました、6月の委員会でもポイント制みたいな御紹介をさせていただいたと思います。そういったところで、保育園のほうにも現在協力していただきまして、来年度の1次募集は終えたところです。そのあたりで、今子育て支援課のスタッフのほうが大急ぎで集計を出しているところです。第1希望に行っていただけるか、第2希望に行っていただけるかというような状況で、今調整をしているところでございます。

また、3月、4月頃になりましたら転出入もございまして、そういったところでのうまく収まる場合が例年あるんですが、転出入の関係があったりして、また少し動いたりだとか待機児童が少し出たりだとかというようなところをしながら、保育園と調整を進めながら、一生懸命待機児童が出ないような形で努力しているところです。少し体制もここで変わりますので、赤磐市が責任を持ってそのあたりは調整を今後していきたいというふうに考えておりますので、よろしくをお願いします。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） そういうふうに市が責任を持つということですから、いいと思います。しっかり調整をしていただきたいと思います。

その中でも、理由として保育士の不足というそういう理由があるということで、現状はどうなってるんでしょうか、そのあたりは。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名課長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 保育士さんは途中で辞められる方もいらっしゃるのが実情でございまして、南のほうは私立の保育園が多いんですが、やはり悩まれて

いるというような話も時々聞きますが、いろんな形でそれぞれの園が努力してくださっておりまして、保育士さんを確保できたからこの前言った方もできるよとかとあって、常に子育て支援課と連絡を取りながら進めていって、園のほうも一生懸命考えてくださって、できるだけ待機児童が出ないような形で連携は取っているつもりでございます。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

原田委員。

○委員（原田素代君） それこそ下山議員の御提案のように、いわゆる年度途中の増減は絶対あるわけです。そうすると、残念ながら待機になるケースも多くて、であればこそ空いてる施設がある以上はそこへ入っていただくようなサポートを市ができれば、待機児童の解消にまさになるんじゃないかと思うんですけど、その御検討はされているんですか。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名課長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 先ほどから言ってますように、市のほうが、来年度になりましたら、しっかりとここに何人入ってるからどういう状況でとかというような連絡を今年度以上にできるのではないかなというふうに考えております。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） だから、最初の段階で確定はするんだけども、年度途中の異動はあるんですよ、急にいろいろ事情があつて。それで、ましてやシングルに突然なつたとか、そういうケースをフォローできるような対応として、下山議員の提案は非常に現実的だというふうに考えました。それについての御検討はされたんですかってことを聞いてるんです。

○委員長（光成良充君） 谷名課長。

○保健福祉部長兼子育て支援課長（谷名菜穂子君） 途中入園につきましても、もう満杯というような状況でないところも正直ありますので、市のほうがどこにどれだけ空いてるという情報はつかめてますので、そちらを御案内することで今後は対応が今以上にスムーズにできるのではないかなというふうに考えております。

市のほうが全部把握するので、どこに何人ぐらいまだ空きがあるよとかというのは市が決定していきますので、今までは保育園のほうに相談に直接行ってくださったら、保育園のほうでもし空きがあつたりしたら入れてあげるよっていうようなことを、市に連絡はもちろん来てたんですが、その状況を市のほうが確実に持っているというような形になると思いますので、そこは今よりスムーズではないかなというふうに考えております。

○委員（原田素代君） 待機児童を出さないように努力してください。

○委員長（光成良充君） いいですか。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） その他について、もうないようですので、以上をもちまして厚生文教常任委員会を閉会としたいと思います。

閉会に当たりまして、土井原教育長より御挨拶をお願いいたします。

○教育長（土井原康文君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 土井原教育長。

○教育長（土井原康文君） 本日の厚生文教委員会におきましては、委員の皆様には本当に御丁寧な御審査をいただきまして、誠にありがとうございました。

貴重な御意見等いただいたものを今後の運営に活かしてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

○委員長（光成良充君） ありがとうございました。

皆様方には、本日は長時間にわたり大変お疲れさまでございました。

これで本日の委員会を閉会といたします。

午前11時9分 閉会